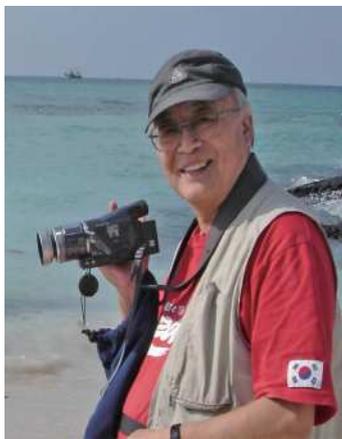


# 『福音新聞』の題字を作成・印刷にあたった高仁鳳氏召天

2012年12月12日、高仁鳳信徒(大阪教会)が71歳で召天した。前夜式は大阪教会礼拝堂において13日午後7時、告別式は14日午後12時半、鄭然元牧師の司式のもとに行われ、多くの参列者が別れを惜しんだ。

高氏は1968年に大阪西成教会の裏庭で僑文社(現・ケイビーエス株式会社)を引き継いだ。夫人である林芳子長老(大阪教会)との二人三脚であった。現在も使用している『福音新聞』の題字は、高氏が作成に関わったものである。当初、僑文社は福音新聞の他、民団や民族学校、各機関の印刷物などを扱う韓国語専門印刷会社であったが、のちに多言語印刷システムを開発、業界内外からも大きな注目を集めることとなった。



第一線を退いてからは趣味のビデオカメラを手に、旅先や日常の記録、特に在日コリアンの歴史に関する様々な行事の記録を撮影し、ブログなどで公開してきた。2012年からは食道がんと闘いながら、最期まで希望を失わず闘病日記を公開、その前向きな姿勢が注目を集め毎日新聞にも掲載された。(報告:朴栄子)

## 総会奨学生 募集案内

総会神学生として各地方会にて認定され、1年を経過した者が申請できます。募集書類は総会ホームページ <http://kccj.jp/archives/2941> からダウンロードしてください。

- ・募集人員:5名・支給金額:年額200,000円/一人
- ・支給期間:1年間(受給者は、継続して新たな申請必要)
- ・必要書類:①奨学金申請書 ②在学証明書 ③成績証明書 ④履歴書 ⑤堂会長推薦書 ⑥総会神学校認定書(各地方会試取部) ⑦各地方会会長承認書
- ・書類提出先:総会事務局
- ・締切日:2013年3月10日必着

在日大韓基督教会 総会長・神学考試委員長

# <関西地方会> 聖歌隊連合会 邑久光明園家族教会 訪問



2012年9月17日(祝日)、関西地方聖歌隊連合会(関聖連)19名と大阪教会の少年少女合唱団リトルジェイズ12名等、計38名が岡山県長島ハンセン病国立療養所の日本基督教団光明園家族教会を訪問して合同礼拝を行った。この訪問礼拝と交流は今年で17回目を迎える恒例行事である。

一部礼拝は、裴貞愛執事(大阪北部教会)の司会で始まり、リトルジェイズの「主はひつじかい」「ホサナ」の讃美、続いて関聖連が「讃美歌メドレー」を讃美した後、朴龍洙牧師(京都教会)が「最悪の環境を最上の環境へ」(使徒言行録16:19~32)と題してメッセージをした。

その後関聖連は、神様にささげる讃美を通して光明園家族教会の信徒の上に大なる神の愛をわかち合い恵みに満たされるようにと祈る思いで「내 주를 아는 것은(我、主を知ることは)」「주께 감사드리세(主に感謝を)」の讃美をささげた。光明園家族教会の金地(かなじ)長老は、関聖連が毎年訪問していることに神様の愛の御手があると感謝のお祈りをされ、金必順牧師の祈り、朴龍洙牧師の祝福で礼拝は締めくくられた。礼拝後は、李相萬長老(大阪北部教会)の司会で交流会が行われた。家族教会はポカリスエット、関聖連からは手作りケーキが提供された。

金地長老は、1912年7月11日に家族教会が設立され神様の見守りによって創立100周年記念を迎えられたこと、現在、家族教会会員は30名で、平均年齢が85.6才であることを語られた。

その後、リトルジェイズは「ダビデとゴリアテ」、関聖連は「良きサマリア人」の寸劇をし、楽しいひと時を過ごした。最後に全員で「ふるさと」を合唱し、朴定夫長老(西成教会)の祈りでプログラムを終えた。神様の導きの恵みに満たされた感謝の一日であった。(報告:崔朱里、大阪教会)

在日同胞文化の創造と多文化共生社会を目指して2006年4月25日、創立100周年を迎えました。



- ◆東京で一番安く便利な宿泊研修施設(ホテル):フロントは日・韓・英語を対応、24時間サービス。10名様から200名様まで会議及び宿泊研修(50名様)も可能。
- ◆スペースワイホール:220席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに最適
- ◆韓国文化(チャング・カヤグム・舞踊)教室・韓国語講座・各種子どもクラス
- ◆YMCA アジア語学院(日本語学校) ※会員及び教職者割引有

| (税込み)   | 平日                                     | 休・休前日   |
|---------|--|---------|
| シングル    | ¥6,300                                 | ¥5,040  |
| ツイン     | ¥11,550                                | ¥9,240  |
| トリプル    | ¥14,490                                | ¥11,592 |
| 朝食 ¥200 | カルビクッパ、コムタン、ユッケジャン、韓定食、洋食(全メニューコーヒー付き) |         |

在日本韓国 YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/>

東京韓国 YMCA アジア青少年センター 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-5-5 TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633

関西韓国 YMCA アジア青少年センター 〒537-0025 大阪市東成区中道 3-14-15 TEL 06-6981-0781 FAX 06-6981-0782

## KCCJ の信条・信仰告白の 自覚的継承を求めて (2) 朴憲郁牧師 (東京神学大学)



<本論>

「信条の解題」

1945年8月15日、日本の敗戦と同時に、36年に亘る日本の植民統治下にあった朝鮮は解放され、その民族と教会は自由と独立を得ることとなった。その間、日本での居住を余儀なくされた200万人を超える同胞が祖国に帰還する民族大移動が起こる中、同年10月22日付の一枚の呼びかけ文が「在日朝鮮基督教連合会」発起委員会名で出され、12条からなる連合会規則を定めた。これが、「在日本朝鮮基督教会」(1934年2月21日創立、長老派・監理派合同)の戦後の再建運動となり、1947年10月14日の第三回同連合会定期総会において信条と憲法が制定され、連合会は「在日本朝鮮基督教会総会」と改称して組織教会となった。1948年10月15日には、祖国における政治体制の対立による南北両政府の樹立に伴い、南の「大韓民国」を支持する立場から「在日大韓基督教会」と改名された。憲法の大幅な改正は、1954年10月15日第十回定期総会と1978年10月23日第34回定期総会と1997年10月23日第44回定期総会の時に行われた。

一キリスト教団組織の創立や再建には、当然ながら信条・信仰告白と憲法の制定を不可欠とするが、在日大韓基督教会総会も同様である。その経緯をまず追ってみるが、戦後の再建に当たって制定した「信条」内容は、数度に亘る憲法改定の変遷があったにもかかわらず、表現や置き換えなど若干の手直しは、ほぼそのまま堅持されてきた。

### 1. 在日朝鮮基督教連合会の創立に伴う公同信条と憲法、およびその後の変遷

1945年11月15日、日本に残留した教会代表が京都西京教会に会合し、教派を超えて団結し、誓いを立てて、「在日朝鮮基督教連合会」を創設した。同連合会はその翌年9月25日、第2回連合会を開催し、治理局を設置し、統一された公同信条と憲法を制定することを決議した。さらにその翌年の1947年1月に京都で開催された治理局会は憲法起草のために、牧師、長老、伝道師による10人委員会を任命し、草案作成に着手した。同年10月14日、大阪教会で開催された第3回連合会定期総会において、満場一致で信条と27章566条からなる長文の憲法が承認・制定された。翌日15日に総会総代一同の名で交付された同憲法の「公布文」にはもっぱら信条について次のように謳われた。

「在日朝鮮基督教連合会が告白する公同信条は、イエス・キリストによって啓示せられ、使徒から継承した正統的信仰の遺産として受けたものであり、聖霊の感化と証拠によって今我らが告白する信仰告白である。神の御言葉に基づき、聖經と一致するものと信じて、これを内外に公布する。」

この憲法によって同連合会は、「在日本朝鮮基督教会総会」と改称した。憲法を起草した憲法委員は次の通りである。呉允台、朴命俊、田永副、張徳出、全景淵、崔正洙、兪錫濬、丁仁壽、金錫珍(次号に継続します。総会のホームページでは、全文をご覧ください。)

## 創世記連続講解 (18)

尹宗銀 牧師

(横浜教会名誉牧師)



### 創世記 34 章

前章と比較すれば7年間の時が流れている。創世記34章の総主題は、『ヤコブの子供たちの犯罪』である。

- ① 1-4節: レアとヤコブとの間に生まれた娘ディナ(Dinah)がシケムの首長ヒビ人ハモルの息子シケムによって強姦されて恥じを被った。
- ② 5-12節: シケム[Shechem]がヤコブに結婚を申し込んできた。
- ③ 13-17節: ヤコブの息子たちの雪辱謀計。
- ④ 18-24節: シケム[Shechem]が割礼を実行する。
- ⑤ 25-31節: ヤコブの息子たちが雪辱する。

本章は、ヤコブがシケム[Shechem]で覆い被された家禍に関する記事である。ヤコブが祝福の地ベテル(神の家)[Bethel]に行って住んだならば、シケムでこのような断腸の苦しみは会わなかったはずである。

このような家禍[home's disaster]は、信仰の脱線者に対する神の懲戒である。少女の不注意な好奇心は、不意に家禍を招き入れた。父母の膝元から離れた少女たちの直面する状況である。子女たちにとって、父母の膝元は安全地帯である。これはヤコブの自己中心の実利主義の結果であると同時に、家庭生活の不敬虔の所以でもある。

このことに対してヤコブの沈黙は、悲痛と羞恥の沈黙である。ディナ[Dinah]に対するヤコブの息子たちの憤りはあり得る話である。悪い謀計で持って復讐の目的でシケム人たちを騙して無実な人々までも殺害したことは非人道的な罪悪行為である。ヤコブが臨終の時に嘆いた通りに険悪な世の中である(49:5-7)。人間の怒りが神の義を成し遂げない。

30節のヤコブの悲痛は、神との交わりが杜絶された人々の代表的な悲痛だと言える。これは罪に対する悲哀ではなく、禍を恐れる恐怖心から生じるもので、自己中心の嘆きに過ぎない。

ヤコブの以人为本主義の実利追求は、不幸を招き入れた。34章全体を通して心に銘記したいことは、ヤコブの自己中心の実利主義である。それは一言でいえば、『ベテルを捨ててシケムに行った』結果は恐ろしい家禍に出合ったのである(ヤコブ1:15)。

豊かな味、豊かな心。



妻家房

SAIKABO

代表取締役 呉永錫 (東京希望キリスト教会 長老)

四谷本店: 東京都新宿区四谷3-10-25 Tel. 03-3354-0100

## 〈平野教会〉 名誉牧師推戴式 及び金鍾権牧師 牧師委任式



2012年11月11日(主日)午後4時より、平野教会において「朴珍烈名誉牧師推戴式・金鍾権牧師の牧師委任式」が執り行われた。まず礼拝は、臨時堂会長である全聖三牧師(布施教会)の司式ではじまり、朴成均牧師(和歌山第一教会)の祈祷、姜斗連長老(大阪教会)が聖書朗読をした後、平野教会の聖歌隊が特別讃美をしてから、金必順牧師(全国教会女性連合会総務)が「命、響き合う」という題で(ヨハネ10:11-15)説教した。

その後、趙永哲牧師(関西地方会会長、大阪北部教会)の司式で、名誉牧師推戴式と牧師委任式に入った。勸勉は、委任される牧師に金鍾賢牧師(浪速教会)が、信徒には金容贊長老(関西地方会副会長)、祝辞は、金武士牧師(総会長、大阪西成教会)・朴龍洙牧師(京都教会)・安永昊牧師(韓国歓喜教会)がした。その後、関西地方会連合聖歌隊と讃美グループ「ジュネス」による祝歌があり、朴珍烈名誉牧師の祝辞で終わった。

朴珍烈名誉牧師は、1985年4月から1997年4月まで、奈良教会で牧会した後、1997年5月から2012年6月まで平野教会で牧会した。その間に、礼拝堂を建築した。そして金鍾権牧師は、2004年6月に神戸改革派新学校本科を卒業し、東京教会の伝道師を経て、明石教会で担任牧師として牧会して、平野教会に招聘された。平野教会は、66周年を迎えており、これまでの感謝とこれからの大きな希望を抱いて新しい出発の線に立っている。

(報告：金鍾権)

### 東日本大震災救済献金の再要請

第51回総会期第三回常任委員会(2012.9.18)は、2013年3月10日(日)を3.11主日とし、東日本大震災救済献金を総会内の諸教会・伝道所に募ることにいたしました。

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)によって、原発事故を受けた住民等の避難起因とする急病、体調不良による死傷。特に子供たちへの配慮を怠ってはならないことでしょう。

### 在日大韓基督教会立 在日総会神学校 2013年度学生募集案内

本校は、一般教育を修了したものが、基本的な神学教育を修め、現代の在日同胞社会の多様性に十分に対応できる福音伝道者の育成を目指しています。

在日宣教に熱い志をもった学生を求めています。

1. 募集人員：5年課程(高卒)、3年課程(大卒)及び2年過程(多神学校4年卒業)等若干名
2. 出願資格：①受洗後、1年以上であること。  
②在日大韓基督教会の正会員  
(但し、他教団出身者は面接要)  
③伝道者としての召命感があること。  
④高校卒業者および他神学校卒業者
3. 出願期間：2012年12月3日(月)～  
2013年2月23日(土)

#### 4. 提出書類：

- ①入学願書(本校所定の用紙)
- ②志望理由書(400枚3枚)
- ③履歴書(本校所定の用紙)
- ④推薦状(所属教会の牧師または機関代表者)
- ⑤最終学校の卒業証明書
- ⑥最終学校の成績証明書 ⑦写真2枚(3×4cm)

#### 5. 試験：

①試験日時：2013年2月25日(月)午後1時

②試験会場：在日総会神学校

東京都足立区西新井本町4-5-1

(TEL 03-3899-9861)

③試験科目：聖書、英語、面接

④受験料：10,000円

⑤合格発表：2013年2月25日(月)当日通知

6. 特典：①卒業後、伝道師考試を経て、在日大韓基督教会の伝道師として二年間訓練され、牧師考試の資格が与えられる。

②学費が安い。年間の授業料は15万円

③総会奨学金の他、各種の奨学金の恩恵がある。

④寄宿舎が完備されている。(毎月約2万円)

⑤本国での語学研修制度や宣教協約を結んでいる海外教団の神学校へ留学する機会がある。

問い合わせ：教務 韓聖炫牧師

TEL 03-3890-3365 携帯 080-3355-3890

<訂正とお詫び> 1月号2面<奨学生募集>の広告で、締切日の2012年を2013年に訂正いたします。

<福音新聞 休刊のお知らせ>次号(3月号)は、休刊いたします。原稿の締切日は、通常と同じ20日までです。

### 東日本大震災 KCCJ 募金口座案内

- ・銀行：三菱UFJ銀行
- ・支店：高田馬場支店
- ・種類：普通預金
- ・口座：053-1615275
- ・名義：在日大韓基督教会総会



在日大韓基督教会  
 宣教 100～110 周年標語  
 감사의 백년, 소망의 백년  
 感謝の百年、希望の百年  
 (데살로니가전서 5:18)

2013年2月1日(金) 第716号

発行所 **福音新聞社** (1部100円)  
 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18  
 電話 03 (3202) 5398  
 発行人/金 武士・編集人/洪 性完  
 fukuinshinbun@kccj.jp (福音新聞)  
 info@kccj.jp (総会事務局)

## <第29回韓・日交流信徒大会> UCCJ 兵庫教区・KCCJ 西部地方会

日本基督教団と在日大韓基督教会の宣教協力に基づく、UCCJ 兵庫教区と KCCJ 西部地方会主催の「第29回韓日交流信徒大会」が1月14日(成人の日)に、神戸東部教会において、約160名が参加して、盛大に開催された。

この大会は、1985年1月15日に、17教会(92名)が参加して開催して以来、29年目を迎える大会であり、主題は、第1回以来「主は一つ、信仰は一つ」である。国籍を超えて唯一の主である神さまの前に、同じ信仰を共有することを目的に開催されてきている日韓の架け橋となる大会でもある。

開会礼拝は、韓世一牧師(神戸教会)が「信徒が共に交わる喜び」(詩編133:1～3)という題で説教した後、表明徳牧師(神戸東部教会)による聖餐式が執り行われた。

この信徒大会は、毎年、成人の日に行われるため、昨年からは新成人への祝福式を行うようになり、金聖泰牧師(武庫川教会副牧師)により、新成人となった在日の青年6人への祝福式が行われ、記念品も贈呈された。そして、新成人に向けて会場の全員が「君は愛されるために生まれた」とう讃美を韓国語と日本語で歌い、共に喜びを分かち合った。



その後、10分団に分かれて、昼食をしながらの自己紹介を通じて交わりをした。午後の公演では、日本・韓国・アメリカなどで活躍されている小堀英郎さんによるピアノリサイタルと証しがあり、会場は感動と笑いに包まれた。スペシャルゲストとしては、小堀さんの婦人である平田葉子さん(ソプラノ歌手)が登場し、小堀さんのピアノ演奏に合わせて韓国の讃美と日本の唱歌を歌った。

このような大会を通じて、日本で暮らしている在日信徒にとっても、日本信徒と直に交流することで、共に主に対する信仰で結ばれていることを確認し合うことができる良い場であるだろう。来年は、30周年を迎える記念の大会であり、主が喜ばれる大会となることを祈る。

(報告:白承豪、神戸教会)

## <関東地方会> 新年! 教会音楽の夕べ開催



지난 1月19日(土) 저녁 7시부터 東京教会에서는 関東地方회가主催하는 <新年, 教会音楽の晩>이 연세대학교 콘서트콰이어어 합창团员들에 의한 힘있고 恩惠로운 찬양 公演을 시작으로 두 시간 여동안 開催되었다.

찬양을 시작으로 은혜를 나누는 뒤에 関東地方회書記인 장경태牧師(東京源泉教会)가 인사와 더불어 이번 行事의 趣旨를 説明하고 나서 開会祈禱를 한 다음에 関東地方회 會長인 한성현牧師(西新井教会)는 [너는 내 것이다](이사야 43:1,2)라는 說教를 통하여 하나님의 榮光을 위한 恩惠로운 찬양과 귀하게 쓰임 받는 찬양 使役이 계속 이루어지기를 祝賀하며 祝福하였다.

곧 이어서 시작된 찬양 合唱은 總 3部로 進行되었다. 圧倒的이면서 恩惠로운 찬양과 協奏曲과 바이올린 独奏와 各種 民謠와 踊動으로 이어진 新年 音樂의 밤은 時間이 가는 줄도 모르는 恩惠가 充滿한 밤이 되었다. 2時間이 넘는 恩惠로운 時間은 김해규牧師(東京教会)의 祝禱로 모두 마쳤다.

금번 行事를 위하여 中間에서 貴한 役割을 한 조재국牧師(연세大学教授)는 在日大韓基督教会에서 按手를 받고 韓国 연세대학에서 가르침으로 使役을 하고 있다. 그리고 이러한 韓日 架橋의 役割과 宣教活動 하나님의 恩혜와 在日大韓基督教会를 통하여 繼續 이어지기를 바란다는 인사도 하였다.

금번 行事는 연세대학동문회 日本支部가 協贊하였으며, 指揮는 연세대학교 金惠玉教授(教会音樂科)가 担当하였다. 그리고 恩惠로운 찬양과 音樂은 教会音樂科 學生들이 情熱的으로 해 주었으며 그 다음날 午後부터는 橫濱에서 韓日 合作 드라마(드라마) 出演을 위하여 撮影이 進行되었다.

(報告:編集部)